

平成 28 年 3 月 7 日

都市ガス事業者初・2年連続最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ BCM格付」において

京葉ガスは、防災や事業継続への取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行（DBJ／本店：東京都千代田区、代表取締役社長：柳正憲）の格付け融資制度「DBJ BCM格付」において、2年連続で最高ランクの評価を取得しました。



日本政策投資銀行 廣實常務(右)より認定証を授与される当社社長・渦山(左)＝3月3日、京葉ガス本社

当社はガス事業者の社会的使命である「お客さまへの安全・安心の提供」を高いレベルで実現するために、保安の高度化と供給基盤の強靱化を重点課題とし、全社的に防災・事業継続への取り組みを推進しております。今般、この取り組みが評価され、同行の「DBJ BCM(※)格付」融資制度において最高ランクの評価を取得しました。これで当社の「DBJ BCM格付」の最高ランク取得は2年連続となり、全国の都市ガス事業者としては初となります。

昨年の評価に加え、今回の格付け審査では主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 首都直下型地震の被害想定等を踏まえてガス導管の耐震化・液状化対策を計画的に実施していることに加え、防災性能の優れた建物へのサーバー移設や供給能力増強といったハード対策を徹底している点
- (2) 同業他社との応援態勢の構築や資機材の確保等により復旧に係るボトルネックを着実に解消することで、目標復旧時間を短縮させている点
- (3) 全社視点の教育・訓練等に加え、個別のスキル向上を目標に階層別の保安教育や各種訓練を実施することで復旧作業の実効性を向上させている点

当社は今後も地震災害をはじめとする防災対策に力を入れ、引き続きガスの安定供給と保安の確保に向けた取り組みを強化していきます。

※BCM:事業継続マネジメント(Business Continuity Management)

